
Song by ~ 愛する君へ ~

猫帽子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Song by 〱愛する君へ〱

【Nコード】

N9869D

【作者名】

猫帽子

【あらすじ】

モライモノとオクリモノ。いつも側にいてくれるあの人に貴方は何を感じますか？

お誕生日おめでとう（前書き）

どんなに笑われたって

どんな風に思われたって

自分を出すことに誇りを持てたのは
君に出会えたからなんだよ…

『不器用な私の精一杯な愛の歌』

お誕生日おめでとう

私さ、人を苦しめるために自分を苦しめてたんだ。

ただただ悔しくて負けたくなくて、それなのに自分が嫌いだからって何も考えずに行動してた。

だけど、貴方に会えて、純粹になりたいって思って、なんか変わった。

それは気持ちだけかもしれない。

でも、でもね？

幸せなんだよ。私。

だから言いたい。

ありがとうって。

そして、これからもよろしくねって。

お誕生日おめでとう。

人生という名の列車（前書き）

半ば数合わせで空白が結構あります…すいません。

人生という名の列車

ここを終着駅にしたいくても本来の目的地はもっと先で

もっと先を終着駅にしたいくても目的地はここなんだよ…

出発してしまえば

元の駅には戻れない

決して途中下車をしてはいけない

人生は始発であり終電だから

時には脱線したり事故起こしたりしてもいい

だから、

だから、君はそのまま走り続ける

一定ではない

貴方自身の速さで…

決まっていない

自分の道を…

人生という名の列車

T a k e t h e t r a i n

走り出そう

時という列車に乗ろう

いつまでも

どこまでも

走り出そう
…

S O N G b y 馬場俊英

Namidairo (前書き)

途中、空白が結構あります…すみません

Namidairo

そつと窓を開けてみる

吹き込まれた暖かい風が季節の変わりを知らせた

namida iro

私は分かっていた

だから、世の中のモノ全てに不信になっていたのかもしれない…

あの日の声は私の想いとは融合しなかった

けど、私はその声に安らぎを感じていた

なんで全てに不信になっていたのに夢だけは信じていられたのだろ
う…

私は素直になれなかった

だから、強がっていた

あの日の優しさは私の行動を知らなかった

だから、その優しさは私に苦しみや裏切りを与えた

裏切ったものを信じるなんて図々しいんだよ…

涙は声と融合した

私、こんなに信じてたんだ

強がるのは弱いからだよ

今になって気付いた訳じゃないのに…

あの日の瞳は今の私をどんな風に見つめますか？

なみだいろ

声が聞こえない夜は
困らせてしまうほど
わがままになりたい
大丈夫！

そう言ってみただけど、
そんなはずないでしょ…

SONG by YUI

My Generation (前書き)

途中、数合わせのために、空白が沢山あります…すいません

My Generation

過去なんか

後ろ指指す奴なんか

振り向いたりしない

惑わされたりしない

誰が何と言おうと

私は

私なんだから

この生き方を全うしてみせる

この夢を掴んでみせる

今、私は飛び立つ

My Generation

16才の春

M y D R E A M

言葉に出来ないだけに

誰でもいいからと

傷付けて

泣いた夜

分かって欲しいなんて思わないけど

描いた夢を信じきれない弱さに

ただ支配されてた

S i x t e e n M y d r e a m

S o n g b y ・ Y U I

春（前書き）

途中、空欄が結構あります…すいません

春

私、大きくなっただんな…

夕方、青く冷めた空を見上げて、ふと思った

桜は散ったのに

春らしくない冷たい風が

私をすり抜ける

ひゅるりひゅるり…

私はこの季節が好き

今まであった

悲しいことや

嬉しいこと

全てに区切りを付けれるから…

まだまだ

そんなに強くないけど

私の道を教えてくれるから

後悔したって

いい思い出になるから

春が好き

そついつ夢ならも一度ありたい
春が来る度、大きくなれる
そついつ気持ちを忘れずにいたら
強くなれるような気がして

S O N G b y H y s t e r i c B l u e

銀河鉄道999（前書き）

途中、空欄が結構あります…すいません

銀河鉄道 999

あの現実には全て夢なんだよ

そう

君の目が物語る

過去に隠されたままじゃ素直な自分を表せないんだ

そう

私は気付く

The Galaxy Express 999

に乗って

君は遙か彼方に

熱いときめきと

冷たい切なさを残して

旅立った。

決して戻らない恋だけど

決して戻したい訳ではない

ただ、

君の言いたかったことを

未来のドラマへ繋げたいんだ

さあ行くんだ

その顔をあげて

新しい風に

心を洗おう

古い夢は置いていくがいい
再び始まるドラマのために

SONG by ゴダイゴ

ナキムシのうた（前書き）

途中、空欄が結構あります…すみません

ナキムシのうた

分かんないなら

失敗すりゃいいじゃん

成功したら

それでおしまい。

そりゃ達成感とかあるかもしれないけど、

そのことに対して期待は

何一つ

出来なくなってしまう。

だから、

失敗を

そんな恥ずかしがることないよ。

だけど、

泣きたいときは

泣けばいいよ。

それで、また君は強くなる。

ナキムシのうた

元気が出たなら歌いましょう

S h a l a l a l a l a l a …

大好きな歌を歌えば

ほら君の顔に笑顔が

一つ咲いた

S h a l a l a l a l a l a …

さあ、気が済むまで

明日の君に届くまで

S O N G b y 風味堂

スター（前書き）

途中、空欄が沢山あります…すいません

スター

帰り道

前より心が優しさを持ったのは

あの日

君が傍にいたからだよ

偶然、君に出逢い

必然的に君を愛した

この出逢いは『運命』なんかじゃないけど

照れたり

恥じたり

切ない目をしたりする

君のそのままが

私は大好きだった

君に出逢えた偶然が

私に真つ直ぐな道を歩くためのものだとしても…

理由なんてなんだってよくなるくらい

私は君が大好きだった

私は小さな小さな星になって

君を照らすから

君は自分を嫌いになったりとか悲しいことはやめて

自由に

笑顔のままでいてね

私は君の手の温かさを知ってるから

私は君の強さを知ってるから

あたしが射す光のもとへと
強く手を伸ばせるのなら
このままどうか
消えない様にと
願いを胸に刻んで

S
O
N
G

b
y

a
i
k
o

T o m o r r o w ' s w a y (前書き)

途中、空欄が沢山あります…すいません

T o m o r r o w ' s w a y

未来に行くのも

過去に戻るのも怖くて

だから、私は

今にすがりついていたくって…

けど、今を生きるのが

本当に辛いとき

私はどうすればいい？

そんな小さな声を包んだ

君の涙が

もう一度

新しくなれるチャンスを教えたんだ

過去の私を攻めた苦しみに

痛みを感じても

新しい私になるための痛みなら

心地よく感じたんだ

だから

私は

もう一度

苦しんでも

過去の痛みと思い直して

明日の道を歩むことにした

明日もきつと輝いている
幼き日々に戻らなくていい
I'm a baby
泣きたくもなる
手に入れるための痛みなら
So good

SONG by YUI

幸福論（前書き）

途中、空欄があります…すいません

幸福論

無理して自分作って

無理して笑って

無理して空回りしてない？

私は無理しない君のそのままだが

好きだなあ

笑ったり拗ねたり黙り込んだり…

時たま、ムカつくけど

いつも、癒されてるんだよ

辛くて道に迷って困って…

けど、君は

どんなときも

今も昔もずっと変わらずに

笑って、ここにいたんだよね

違う優しさにひかれたときも

恋とか夢とかに真剣になって友達なんかってそっば向いてたときも

ずっとずっと…

だから、今度は私の番

君が教えてくれてたことを私が教える…

どんなことがあっても、気にするな！

ただ、叶うことだけを信じて？

幸福論

私は君がいるだけで幸せに気付けたんだから。

時の流れと空の色に
何も期待はしないように
素顔で泣いて、笑う君の
そのままを愛してる故に
私は君のメロディや
その哲学や言葉全てを
守り通します
君が其処に生きているという真実だけで
幸福なのです

SONG by 椎名林檎

スーパースター（前書き）

途中、空欄が沢山あります…すみません

スーパースター

逃げて

さ迷って

闇に墜ちて

涙を流す

そんな子供のように弱い今の私は

孤独と期待の

接点にある貴方の意思とは通わないのかもしれない

人と比べて喜んで…

人と比べて疎ましくなった…

自分に勝とうとしなかった私の

眼の前に立つ君の姿は

仮面を外したスーパースターだった

今からでもこんなに強く変われるのかな？

寂しさに惑わされることなく、自分を見つめれるのかな？

世間に染まらない心の空を

少しでも鮮やかに

描けるように

そう願ったのは

君と出会えたから

私の憧れの人 君というスーパースター

私は

あなたの強く光る眼

思い出すけれど

もしも会えたとして

喜べないよ

か弱い今日の私では

未だ厭だ：

SONG by 東京事変

ギリギリHERO（前書き）

途中、結構、空欄があります…すみません

ギリギリHERO

僕は君を命懸けで守る

誰が止めたって

誰も止められないんだ

僕は君の前では

照れて上手く好きな気持ち表せないけど

僕は君のギリギリHEROだから

いっぱい失敗するし

いっぱい泣いちゃうけど

僕のこの強がりな気持ちは

ホンモノだから

嫌われたって守るよ

困らせたら謝るよ

使命はここだって分かったから

色褪せない情熱抱いて

G o i n g o n

泣きべそかいて

背伸びしたって守るよ

僕は君のギリギリHERO

変えてみせる昨日より

マシなStory

派手なコスチューム

身に纏わなくなっ

僕は君のギリギリHEROさあ

S O N G b y m i h i m a r u G T

恋愛写真（前書き）

途中、空白がだらうっとあります。すいません。

恋愛写真

卒業式の帰り

私は学校に一人残って、写真を取った

テーマは『あなたのいた学校』

あなたの隣に座った食堂

あなたのいた教室

あなたを待っていた階段

あなたと初めて待ち合わせをした図書室

あなたに出会えた玄関

27枚しかない使い捨てカメラに27枚以上の想いを閉じ込めていく

あなたが死んだのにみんなはあなたを忘れたように別れを惜しむ

私は見えない目であなたをしっかりと見ていた

あなた、卒業おめでとう…

最後に収めた写真はあなたと出会えた日のような雨上がりの木漏れ日だった。

ただ君を愛してる
ただ君を愛してる
ただ君を愛してる

ただそれだけで良かったのに…

恋愛写真 song by 大塚愛

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9869d/>

Song by ~愛する君へ~

2010年10月22日14時03分発行